

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和7年度全国学力・学習状況調査の本校の結果についてお知らせします。

○…全国の平均正答率よりも上回っている。(全国平均正答率 < 本校平均正答率)

●…全国の平均正答率よりも下回っている。(全国平均正答率 > 本校平均正答率)

<各教科の全体>

	全国	千葉県	本校
国語科	66.8	66	○
算数科	58.0	58	○
理科	57.1	57	○

今年度、国語科と算数科と理科、3教科全て、全国と千葉県の平均正答率を上回りました。

本校の第6学年の児童は学習に集中し、よく向き合って努力しているので、確かな学力が身に付くよう引き続き努めていきたいと考えます。

<各教科の詳細（学習指導要領の内容・領域）から分かる成果と課題>

			全国	千葉県	本校
国語科	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方	76.9	74.2	○
		(2) 情報の扱い方に関する事項	63.1	62.6	●
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	81.2	81.2	○
	思考力 判断力 表現力等	A話すこと・聞くこと	66.3	65.3	○
		B書くこと	69.5	67.7	○
		C読むこと	57.5	57.4	○
算数科	A数と計算		62.3	62.2	○
	B図形		56.2	55.2	○
	C測定		54.8	54.9	○
	C変化と関係		57.5	58.5	○
	Dデータの活用		62.6	62.3	○
理科	A「エネルギー」を柱とする領域		46.7	48.2	○
	A「粒子」を柱とする領域		51.4	51.6	○
	B「生命」を柱とする領域		52.0	49.6	○
	B「地球」を柱とする領域		66.7	66.5	○

[国語科]

知識及び技能においては、(3) 我が国の言語文化に関する事項 の正答率が県や全国平均を大きく上回っており、(2) 情報の扱い方に関する事項 の正答率が全国平均より低いため課題です。

思考力・判断力・表現力においては、A話すこと・聞くことの正答率が県や全国平均よりも高く、B書くことの正答率は、県や全国平均と同等であるため課題です。

問題形式別で見ると、記述式の正答率が県や全国平均を大きく上回っています。また、選択式と短答式も県や全国平均を上回っています。

[算数科]

全ての領域で県や全国平均を上回っています。そのことから本校の第6学年の児童に学習内容が身に付いていることが分かります。特に、B図形の正答率が県や全国平均の正答率を大きく上回っていることが特徴的です。

問題形式別で見ると、答えやすい選択式の正答率が県や全国平均を大きく上回っています。また、短答式、記述式も県や全国平均を上回っています。

[理科]

全ての領域で県や全国平均を上回っています。そのことから算数と同様に本校の第6学年の児童に学習内容が身に付いていることが分かります。特に、B「生命」を柱とする領域とA「粒子」を柱とする領域の正答率が県や全国平均の正答率を大きく上回っていることが特徴的です。

問題形式としては、答えやすい選択式の正答率が県や全国平均を大きく上回っています。また、短答式、記述式も県や全国平均を上回っています。

[児童質問紙調査から分かる成果と課題]

成果（よいところ）

- 子供たちが日々の学習に主体的に向かい、授業でも自分の考えをもって活動しようとする姿が多く見られました。その姿勢が、各教科の学習意欲や学びの深まりにつながっています。
- 家庭学習にコツコツ取り組んできたことが、子供たち自身の「できるようになりたい」「もっと学びたい」という力につながっています。子供たちが積み重ねてきた努力がしっかり成果として表れています。

課題（これから取り組んでいくところ）

- 国語科の学習に対する意識がやや低い。

【改善点】

- ・文章の読み取りや書く活動など、つまずきが生じやすい場면을補うため、ペア・グループで考えを交流する活動を計画的に取り入れていきます。
- ・授業の見通しをもちやすくすることで、子供たちが「わかる・できる」という実感を得られるように支援していきます。
- ICT を活用した学習に対する意識が、全体として十分に高まっていない。

【改善点】

- ・調べ学習、振り返り、発表活動など、学習の質を高められる場面で計画的に ICT を組み込み、子供たちが「使う意味」を感じられる学習を進めていきます。
- ・ICT 支援員と連携し、操作に不安のある児童へのサポートを強化し、ICT 活用に対する苦手意識を軽減できるよう、基本操作の確認や段階的な支援を行っていきます。
- 学習習慣そのものに対する意識がやや低く、学習時間や取り組み方にばらつきがある。

【改善点】

- ・家庭学習の内容や量、提示の仕方を見直し、学年・学級で取り組み方を統一するとともに、家庭で取り組みやすい課題となるよう工夫していきます。
- ・学習習慣が定着するよう、提出状況の確認方法や励ましの声かけを改善し、継続的にフォローする体制を整えます。